

# 事業報告

## 令和3年度 学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業 放課後児童関係者研修会

日時:令和4年1月11日(火)

会場:大分県立図書館 視聴覚ホール及び第1~5研修室

参加者:49名(放課後子供教室関係者:12名 放課後児童クラブ関係者:37名)

### <研修趣旨>

放課後子供教室や放課後児童クラブ、児童館等の連携による子どもの安全・安心な放課後の実現に向け、研修を通して、子どもに関する様々な課題について関係者の相互理解を図るとともに、今後の効果的な運営及び活動内容の充実につなげる。

### 【開会行事】



主催者あいさつ  
大分県教育庁 社会教育課 課長 後藤 秀徳



開会行事・研修1(講演・講義)会場:県図書視聴覚ホ

### 【研修1(講演・講義)】

#### ①性暴力について



性暴力サイババー  
工藤 千恵 氏  
「無関係ですか性暴力」  
～身近な性暴力を一緒に考える～

#### ②児童虐待について



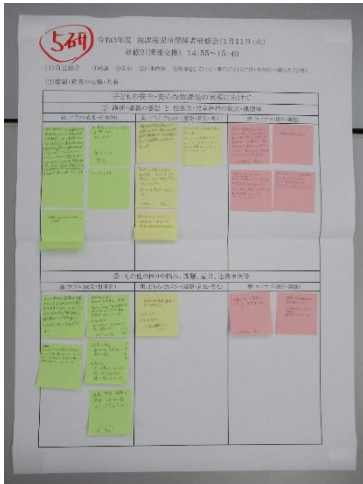
県福祉保健部参事監兼こども・家庭支援課長  
河野 洋子 氏  
「児童虐待の実態と未然防止・早期発見」  
～放課後児童関係者の役割～

本年度は、社会問題化している「児童虐待」と「性暴力」をテーマに実施しました。  
お二人の講師から、現状や実態、防止策、気づき(未然防止・早期発見)、発見・遭遇  
した際が取るべき行動や役割等について、具体的にご示唆いただきました。

【研修2（情報交換）】 ※パーテーションを設置の上、4人の少人数グループで実施



テーマ：子どもの安全・安心な放課後の実現に向けて



情報交換で使用したワークシート

緑：プラス（成果・好事例）

上段：講演・講義について

黄：どちらでもない（感想・意見・考え）

下段：その他（日常の中で）

赤：マイナス（困り・課題）

普段はなかなか切込みづらい「性暴力」「児童虐待」という内容ですが、子どもの安心・安全とは切っても切り離せないテーマです。参加者にとって、これまでの認識の間違い等に気がつき自分と向き合ったり、新たな知識や自分たちの果たすべき役割や取るべき行動の指針等を得たりと、収穫が非常に多い講演・講義の内容となりました。

情報交換についても、より多くの時間・機会の確保や内容の充実を求める声、つながりや連携ができるのを楽しみにしているといった声が数多く寄せられました。

年に一度しかない本研修は、内容そのものに対する期待はもちろん、子どものために日々の活動に取り組んでいるといった点で志を同じくする関係者が集い、語り合うことができる貴重な場・機会としての期待が寄せられていることを感じました。

<参加者感想>

- 県内の児童虐待の状況や、ケース毎の対応方法等を知ることができた。
- アンテナを高く張り（感度を上げ）、子どものSOSに気がつける大人になりたい。
- 役割を自覚し、子どもの心や身体、行動を理解し、効果的な支援へつなげたい。
- これまでの自分の知識や思っていたことの間違っていた部分に気がつかされた。
- 1人で抱え込まない、空振りでもいい、一緒に・・・という言葉に安心した。
- 普段は口にしづらい話題について、分かりやすく教えてもらい、とても勉強になった。
- 身近なこととして考え、毎日の子どもたちの様子をしっかり見守っていきたい。
- お互い（放課後子ども教室と放課後児童クラブ）の話が聞けて良かった。